

かしい、

Aブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

そっちは楽しいかい？

ちゃんと周りと上手くやってるかい？

しょうもないことに文句をつける癖は治ったかい？

それともまだ「大人になりたくない」なんて言っているのかい？

今となっては、ねえ

君のいない世界

快

速についての

説

教

「快速電車ってえのがあるだろう。でっかくて客が多い駅にだけ止まるアレだ。だが、ありやあ名前が良くねえ。なんでって、考えても見ろ。自分の最寄り駅を快速が通過していく奴がどんな気分になるか。「快速」なんて書いた電車が通り過ぎていても、こちら不愉快な気分になるだけだ。ずいぶん都会本位なネーミングじゃねえか。」

同じく駅ぶっ飛ばすんでも「急行」とか「特急」ならちったあ許せるんだがな。「急いめます。」っていうなら「じゃあどうぞ。」って譲ってやりたくなるってものだ。ん？なんだ？自分だって途中の駅で快速に乗り換えてたじゃないか、だって？そりゃあ、おめえ、そうしないと朝のうちに会社に着けねえんだよ。仕方ねえんだ。だいたい、「快速に速い」とか書いてるが、朝の快速電車なんて乗ってて全然快適じゃないじゃねえか。普通の各駅停車より断然混んでいやがる。車内はおしくらまんじゅう状態じゃねえかよ。何が快速だこんちくしょう。

便利ってのと快適ってのは違うもんなんだよなあ……。お、俺あ今ちよつといいこと言っただぞ。名言だぞ、わっはっは！

そう。快適なのと便利なのは違うんだ。もつと言うと、幸せになることと便利な生活を送ることは全然違うんだろうな。

まあ、電車だったら速くて便利ならそれでいい気もするが、人生はそうならダメだ。各駅停車のことを「鈍行」なんて言ったりするが、人生は鈍行でいいんだよ。面倒でも全部に立ち寄って、見れるもん全部見て、ゆっくり生きれば、それでいいんだ。お前もまだ若いから、いろいろ焦っちゃまうかもしれねえが……ってお前、聞いてんのか？おい！おま……」

カウンター席の隣に座っている息子は、既に夢の中。店内はまだまだ混みあっている。父親は舌打ちをしつつ、グラスに一口残った焼酎を飲み干す。とある居酒屋にて、金曜の夜のこと。

サザエの磯焼き

お、湯気出てきた！磯の香りするねー
 活きてるんだよねこれ？

あー確かに…これが自分だと思うとねえ…
 網の上で人生の幕を閉じるのやだもんね。

え？あ、どんな貝生？だったんだろうね。
 いや、貝生とかこれはこれで微妙！

そうだよ、基本真つ暗！

あ、前に何がで見たんだけど、時間の概念を無くしたら
 実際人間はどんな生活をするかって実験でさ
 被験者を1人で洞窟で生活させるヤツ。
 あ、知らない？

うん、ちゃんと部屋になってて

日光と時計が無いだけの話で

あとは電気とかもあつて普通に暮らさんの。

で、試験期間4ヶ月終わって

研究者達が洞窟にその人呼びに行ったらさ

…いや、死んでないから！

『もう来たの？まだ半分でしょ。』って。

実際その人が自分の感覚でつけるカレンダーが
 ホントに2ヶ月しが進んでなかったんだって。

うん、その実験結果では

1日が50時間になるらしいよ。

ね！このサザエさんはずーつと

貝のお家の中にいるわけじゃん？

相当スローな生活を…

あー泡出てる！火消して！

食べよう食べよう！せーので取るう！

はいせーの、出家の瞬間でーす。

あーホントだ！意外と軽く取れるんだね！

いや、そんなのつけなくてもいいよー

せつかくだから天然の塩味でいこうよ、ね！

でーわ、いただきます！

うーみーはー

ひーろいーなー

おーきーなー

んー？
 なんかあったかー

うーーわ
 あっつーー！

あれー？
 お腹がなー

回顧

街中遠目にキミと再会
僕はそっと人ごみ迂回
話せばいいのに逃げたの後悔
そのまま路地裏深夜の徘徊

去年の夏は日差しが爽快
隣のキミは無邪気で愉快
そんな日常今では崩壊
あの日のキミはそこにいるかい？

キミと僕との間の境界
きつといつかは必ず和解
一世一代決死の面会
夏のあの日をもう1回

導き出された2つの別解
交わることない平行世界
鍵をかけた思い出未開
時が経てば優しく風解

おつかれさま

携帯電話が鳴る。—22:48 中村秋彦—

『引越しの支度手伝って』

「こんな時間になに言ってるんだ。引越し？いつだよ」
『今』

中村のアパートはおれの下宿から遠くないという道順だけ言って奴は電話を切った。夜風が妙に生ぬるい。あつた、これだな。すずめ荘（雀荘？）。

「よう、やっちゃん。グーテンモルゲン！」

殴った。何がよい朝、だ。時計を見る。

「何だよいきなり…」

「こっちの台詞だ。いきなり引越し手伝えて何だ」

「しょうがないじゃないか、引越しすることに決まったのはさっきなんだから」

また妙なことを言い出した。

「実はさっき大家さんが、ここのアパートは明日の朝五時に取り壊されることになりました、って連絡してきたんだよ」

ものすごく事後承諾な変更なしの確定事項だった。

「それでしょうがないから準備をしようと思っただけ、荷物が多いからお前に手伝ってもらおうと電話したんだ」

…明朝五時取り壊しに疑問はないらしかった。しかたない、さっさと終わらせて帰ろう。荷物とやらは押入れか。押入れを開ける。

子どもがいた。

古風な着物に切り揃えられた髪。色の白い五、六歳の風貌。口を開く。「こん…」

パンッ。反射的に押入れを閉めた。

「ん？やっちゃん、どうした？」

「…今、座敷わらしの幻覚が見えた」

「馬鹿だなあ、座敷わらし何ているわけないだろ。あれはただのひきこもりだよ」

「…なんでひきこもりがいるんだ。お前の部屋だろ」

「ルームシェアだよ」

納得しかねたがその時ノックの音。ドアを開ける。

骨がいた。

「ああ骨皮さん、久しぶり。また一段とスリムになったようで」驚くおれに構わず中村はのんきに言う。スリムって言うか骨だ。

「中村さん、ではわたしはこれで…」

「すいません、お構いもしませんで」

骨が帰る。おれは中村を問い詰める。

「な、何だ今のは…」

「何って引越しの挨拶だよ。隣人の骨皮さんだ。見ての通り痩せている」

のんきな友人に抗議しようとするのと再びノックの音。ドアが開いた。

グレイタイプのエイリアン。

「☆〒\$。○△□#☆♂…」未知との遭遇…

「へえ、実家に帰るんですか。家族と暮らせてよかったですね」…意志の疎通を行っている。

「エイリアン？そんなものがあるわけないだろう。

彼は鈴木一郎さん。遠い地方からの単身赴任のお父さんさ」こいつには何を言っても無駄か。ちなみに鈴木一郎さんは先ほど光に包まれて消えた。

奇怪な連中の訪問は続いた。吸血鬼（中村の解説・ルーマニアから出稼ぎにきた低血圧の兄ちゃん）、天狗（酒飲みのおっちゃん。麻雀仲間）、魔女（コスプレ好きのお姉さん。合ってるかも）、etc…

外を見ると、アパートからぞろぞろと魍魎魍魎の類が現れ、どこかに移動している。百鬼夜行だ。いかんこれは夢だ幻覚だ、ちよっと寝不足なんだ…。さっさと終わらせて帰って布団かぶって寝てしまおう。ひきこもりと中村を無視し、おれはひたすらに荷物を詰め込み、不要な物は捨てた。中村が、「これは必要な物だよ」と言うが無視した。

引越しの支度を終えおれは家に帰る。行くところがない、と上がり込んだ中村を叩き出した。

疲れた。午前二時過ぎ。まだ寝る時間はある。あれは夢だ。寝て起きたら忘れるさ…。

がたん。押入れの中から物音

『解』の使い方

理系・応用編

化学実験編

「ああっ！水酸化ナトリウムが潮解しちゃった！」

名探偵編

「謎は全て解けた！」

数学編

「次の方程式の実数解の個数を求めなさい」

永遠の宿題編

「きみの人生の解を求めなさい」

プロポーズ編

「二人の最適解を見つけないか」

雨の夜に

深い闇の中、雨が冷たく突き刺さる。

赤い滴が水とともに滴り落ちる。

厄介な傷を負ってしまった。

どこかいい場所をと探すが、休める所は見つからない。

かすかに暖かい空気のおいを感じた。

視界がかすむ中、においの元をたどる。

見つけた。たしか教会とかいう建物だ。

唯一扉が開放されているこの建物に、俺はよろよろと入り込んだ。

明かりが付いている、おそらく誰かいるはずだ。

だがもう細かいことは気にしていられない。

そろそろ限界が近いのだ。

足音が聞こえてきた。近い。見つかった。

もうここにはいられない。死を覚悟した。短い一生だったと。

俺を見つけた若い人間の女は、お節介にも俺を介抱してくれた。

俺は四日で動ける程度まで回復し、いつここを出ようか考えている所だ。

だが女は俺の召使いになりたいようであるし、ここもなかなか居心地がいい。

もうしばらくここに居てやるか、と何回目かの同じ結論を出す。

女が食事と水を運んでくる。また買い置きの缶詰か。

俺は若干の不快感を表しつつもねぎらいの声をかけた。

解

道は二つに分かれている

どちらに進もうと

誰も咎めない

私と行くか

それとも奴と

進むはあなた

選べるは一つの道

水泳の授業

僕は吐き気がした。絶望的な気分だった。三時間目に水泳の授業があるからだ。僕の運動神経は豚並みで、水に浮くことすらできない。しかも今日は水着を忘れた。マウンテンゴリラのような体育の先生は僕を竹刀でたたかたろう。僕は二時間目の途中でトイレに行くと言い授業を抜け、そのまま校門へ向かった。竹刀でたたかれるくらいなら帰った方がましだと思った。

校門では用務員のおじいさんがゴミ拾いをしていた。僕は落ちていた缶を拾っておじいさんに渡し、それから校門を出ようとした。「ありがとね」おじいさんのかすれた声が聞こえた。僕は聞こえないふりをした。「逃げるのかい」おじいさんの言葉に僕はびくりして振り返った。「若いうちは逃げることも戦うこともできる、年をとるとそうはいかんがな」おじいさんはすべて知っているようだった。「でも、水着がない」僕はとさに答えた。「ほれ、やるよ、今そこで拾った」おじいさんはゴミ袋の中から何やら取り出し、僕に手渡した。「これでマウンテンぶつ飛ばして来い」おじいさんは親指を立ててかつこつけた。僕は何だかできるような気がした。

「なぜ指定のスクール水着じゃないのだ、そんな水着駄目に決まっている」マウンテンは竹刀を振り上げた。「家にこれしかなかったのです、お願いです、今日だけこれで泳がせて下さい」僕は涙をこらえて訴えた。「それしかなかったって、三つの貝をワカメで結んだビキニスタイルではないか、そんなものでまともに泳げるわけがない」マウンテンは今にも竹刀を振りおろしそうだ。「絶対に泳げます、泳げなかったら通知表に一をつけてください」僕はこの自信がどこから来ているのか分からなかった。ただ、真正面から戦おうと思った。

飛び込み台の上で僕の足はガクガク震えた。水に浮くことすらできない僕が飛び込みなんてできるはずがない。まして二五メートルなんて……。「よいい、ピー」マウンテンが笛を吹く。僕はとにかくプールに落ちた。水面に腹を打ち大きな水しぶきが上がる。そして沈んだ。水しぶきがやんだプールは静まり、僕は浮いてこなかった。「おいおい、大丈夫か」マウンテンがつぶやいたその瞬間、僕は両足を滑らかに揺らし、一度も息継ぎすることなく二五メートルを泳ぎ切った。ターンをしてもう二五メートル、それからまたターンをして二五メートル泳いだ。手を使うことなく足の揺れだけで、優雅にかつ大胆に。それはまるで人魚、マーメイドのようだった。僕は水流を完全に支配した。プール内をぐるぐると回り、やがてうず潮ができた。僕の股間と胸に張り付いた三つの貝と、それを結ぶワカメは完全に僕の一部分と化していた。うず潮はコースロープを引きちぎり、マウンテンは「やめろ、もう止めてくれ、コースロープは経費で落ちない」と叫んで泣いた。僕は海の豚、イルカの気分を味わった。

「やっぱり『藻貝』は爽快じゃ。」ゴミ袋を持ったおじいさんは、校長室からプールを眺めていた。

ひとつじゃないし、

あるとも限らない

快と悔

「次の方どうぞー」

機械的な声が廊下に響く。

「よろしく願います」

挨拶と共に軽く頭を下げ、僕は白色のカバーの掛かった丸い回転椅子に重い腰を下した。今更ながらに、仕事を早退してきたことを後悔する。

「田崎さんですね。」

まだ若く清潔感のある顔とは裏腹に、重みのある声が、気の重い僕の腹にずつしりと響く。

「はい、田崎です。それで、結果の方は……」

「残念ですが……、陽性です。」

「じゃあ、また明日ねー、ばいばい。」

僕と彼女がいつも別れる交差点で、日々変わらない彼女の優しいアルトの声が僕の胸を通り抜ける。他愛ない日常ではあるものの、僕は毎日この瞬間を密かな楽しみにしている。

「ああ、また明日な。」

そういつて彼女をひとしきり見送ると、遠くから同じ仲間の上村が、如何にも、という顔でこちらへ走ってきた。

「おうおう、毎日アツアツだな。」

「うっせーよ。アツアツなら何か問題でもあんのかよ」

「まあまあ、そうムキになんなくて。そうだ、今日どうする？ いちおう、お前にも予約入ってっけど。」

「ああ、今日かあー。どうすつかなあー、そろそろ受験勉強もしないと俺、ヤベエもん」

「バカ言えよ、お前。この前の模試、全国に名前載って何が『ヤベエ』だよ。たまには息抜きも必要だぜ？」

「そういうお前こそ、何が息抜きだよ。お前は別のヌイてんだろうが。」

ははは、それはそうだ、と上村の爽やかな笑い声がよく晴れた空に響きわたる。

「それに俺は、お前とは違って難関校志望ですから、そんなよゆうは、もう無いの。」

「おいおい、言ってくれるな。いや、最近だと『言うよねー』の方が秀逸か？」

「ばーか。てか、秀逸ってなんだよ。」

「ツツコミ所がそこかよ。お前ズレてんな。」

思わず、プツと噴き出した僕は、上村の頭を軽く小突く。

東京は若者にとって楽園だ。そして、僕もまた楽園に浸る若者の一人なのだ。真面目に働いても楽にはなれない。大人も社会も歪んでいる。当時そう感じていた僕に、友人の上村はこのバイトを勧めてくれた。抵抗はなかった。楽なものだ、欲に溺れた女性を数時間相手にするだけで、コンビニバイトの何倍もの現金が手に入るのだから。

「ありがとうございました。」

そう言う足早に病院を去り、帰路につく。ショックでまだ頭はボーッとしたままだ。

プブブッ、とポケットの携帯が小刻みに震える。

「もしもし、どうしたの？」

「ねえねえ、私、妊娠してるって！ 妊娠、一カ月なんだって！ 今日特別に、たーくんの好きな物作っただげる。」

いつもより少し高めの優しいアルトの声が、乾いたアスファルト道路の上に落ちていく。

「すまない、今日は仕事で遅くなる」

回文恋占い

五月のあなたの恋愛運は？縁があるのはどんな子？さあ、占ってみよう！
今回の判定方法は、フルネームをローマ字表記したときの「B」の回数！

無しの人は…

応（こた）うとてもいい子（こ）っ！「彼（かれ）、かっこいい！」…モテ、到来（きらい）。

一回の人は…

行（い）け！シャイな癒（い）し系（けい）。

二回の人は…

Now よし、ディスコ。いい、若い（わか）、可愛い子（こ）。粹（すい）でしような。

三回の人は…

恋（こ）う間（ま）と夜別（よあわ）れ、いざ、入れ替（か）わるよ、と舞（ま）う子（こ）。

四回以上の人は…

無い（な）な、険（げ）しうも。気（き）がある？若（わか）い恋（こ）か、悪足掻（わるあが）き。……申し訳（わけ）ないな。

どうだった？あんまり良（よ）くなかった人（ひと）たち、気（き）に入（い）らないからって上（う）から読（よ）もうと下（した）から読（よ）もうと、結果（けい）は変（へ）わらないよ。

じゃあまた来（き）月（げつ）！どん、英語（えいご）で語彙（ごい）、エンド！

*

*

*

そつと雑誌（ざっし）を閉（と）じて、俺（おれ）は小さく呟（ささや）いた。

「用（よう）無し占（う）い欄（らん）、信（しん）頼（らい）なら失（う）うよ」

俺（おれ）の名字（なづな）は、高原（こうげん）だ。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	君のいない世界	2 pt	10 位	0 sp
		人生の階段をひとつ登って、ふと後ろを振り返る。戻らぬがゆえに、いとおしく懐かしい。誰にも経験ありそうな、そんな小さなセンチメンタルを、親しみやすく、さくっと伝えて、シンプルなだけに、ラスト1行にこめられた思いがふうわり広がります。		
A02	快速についての説教	12 pt	4 位	1 sp
		酔っぱらいのおじさんトークがしっかりサマになって、するする読めて、ふふっと笑えて。こうやって聞いていると快適と便利は違う、って意外と深い名言な気がしてきます。それもまた、おじさんトークパワー、なのでしょう。特別賞：鈍行賞（共感できた）		
A03	サザエの磯焼き	4 pt	8 位	0 sp
		タイトルで種明かししちゃうのがもったいないくらいに、ていねいにこまやかに演出ができていてすばらしい。ザンコクな死を描いているはずなのに、こんなにもコミカルでかわいいなんて！		
A04	回顧	15 pt	3 位	3 sp
		ラップ調♪ リズムよし、ボキャブラリーの豊かさよし、ドラマの盛り上がりよし。 きれいに整って、あざやかでした。おめでとう、ブロンズメダル！ 特別賞：エイベックスにもっていきま賞（歌えたから）ラッパー賞（もはや音楽の道に進んでほしい） いんふんでるで賞 イチオシフレーズ：「街中～風解」のかいの連鎖		
A05	おつかれさま	4 pt	8 位	1 sp
		ふむ、怪ですか。いきなりの真夜中電話から引き込まれて、とぼけ味にしっかりはまりました。がたん！ヘンなのゾロゾロ百鬼夜行も楽しいけれど、じつは墓場の強制移転なんですうなんてオチが付くと、投げっぱなしより、読者もさらに楽しめたのでは。特別賞：よく出来ているで賞（巧かったです） イチオシフレーズ：「すずめ荘（雀荘？）」		
A06	『解』の使い方	1 pt	11 位	0 sp
		ラスト1行のインパクト巨大莫大無限大です。いろいろなパターンがあるなあと気軽に眺めていた時だけに、虚を突かれておおおおでした。イチオシフレーズ：「二人の最適解を見つけませんか」×2 永遠の宿題編		

	A07	雨の夜に	19 pt	1 位	1 sp
			すべての行に「かい」が入ってる！気づいたTAさん 総立ちでブラボー!! でした。 硬質なフレーズをつないで中世ヨーロッパのゴシック 教会イメージ。 そのどっしりした重々しさを「ニャー」で受け止めた オチに啞然呆然です。 堂々の首位の今夜は、きっと缶詰じゃないディナーで すよ、おめでとう!!! 特別賞：ニャー賞（受賞理由「ニャー」） イチオシフレーズ：「ニャー」×3		
	A08	解	0 pt	12 位	0 sp
			決断を迫る言葉の力強さと歯切れ良さ、しっかり叩き 込んできていただきました。 「私と行くかそれとも奴と」——ここから男と女の ドラマが、ありあり見えてくるところが良いです ね～。 シンプルに攻めたのに、10に持って行かれてしまった のが残念ドンマイ。		
	A09	水泳の授業	5 pt	7 位	0 sp
			神作品だ！TAさんたち騒然。 破壊力、すばらしいです。ワカメのビキニで、コース ロープが経費で落ちない、と。 ぶっ飛んだ発想力と描写力にブラボー!! めでたくイチオシフレーズ大賞です。 イチオシフレーズ：「三つの貝をワカメで結んだビキ ニスタイル」「僕の股間と胸に張り付いた三つの貝 と、それを結ぶワカメは完全に僕の一部と化してい た」「コースロープは経費で落ちない」「マウンテン ゴリラ」「これでマウンテンぶっ飛ばして来い」		
	A10	無題（ひとつ じゃない し・・・）	16 pt	2 位	2 sp
			ちょっと評価に悩みます。 お題が「かい」だから、あ「解」かと納得できるけ ど、それはお題依存になってしまう。まあ「愛」とか に置き換えても読めるので、反則すれすれラインか な。 これを2位まで押し上げたフロアのみなさまは、さ て、どこまで深くこのフレーズを受けとめたのでしょ うか。 コラム歴4年の練達作者さんの到達した境地、でし たっ。おめでとう!! 特別賞：キャッチコピー賞（短くていい）ズルい賞 （2行なので） イチオシフレーズ：「ひとつじゃないし、あるとも限 らない」		
	A11	快と悔	6 pt	5 位	2 sp
			ドラマティックな展開を、よくまあこのスペースにお さめましたね。しかも、説明風ナレーションなしで、 セリフだけで状況をしっかり分からせたテレビドラマ 的手法があざやか。 ややエレガントさに欠ける表現（もっとぼかして書け るはず！）と、時系列の分かりにくさが難か。 特別賞：僕も息抜きしたいで賞 変態で賞（着眼点がお		

		もしろい) イチオシフレーズ：「お前のは別のヌイてんだろ」
		6 pt5 位5 sp
A12	回文恋占い	がんばった！ものすご〜くがんばった!! 回文だからどうしても苦しい言い回しになってしまうところを占いという設定にしたことでクリアしたアイディアが光ります。 どっちから読んでも結果は同じさ、なんてツッコミもしゃれてて、ほんとにほんとにおつかれさまでした、タカハラさん。 おみやげに最多特別賞をお持ちくださいませ。 特別賞：努力賞（すごいたくさんさんの回文 ナイスファイト!!） 回文賞（天才）よく考えたで賞（がんばった回文うめえ またガンバレ） がんばったで賞（がんばってるから） 努力賞（回文作るの大変だったね）

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
		4 pt	9 位	0 sp
B01	かい	波にさらわれては、また戻ってくる貝、という設定でしょうか。 絵本テイストで、ラスト1行が、とてもかわいけれど、もう少し情景を読者にも共有できると、よりこのメルヘンタッチが活きたかなと思います。		
		12 pt	3 位	0 sp
B02	Creator	自分への、みんなへの応援メッセージ。論理的にしっかり組み立ててあるので、すとなんとすなおに腑に落ちます。 起承転結、段落はしっかり区切りたい。それだけで、読みやすさが200%アップします。 でも主張はしっかり受けとめてもらえて、おめでとうブロンズ・メダル！		
		5 pt	8 位	2 sp
B03	繁栄の貝殻	瑠璃色の侵入者。しかして、その意図は？ そこが見えないだけに、惑星が貝殻で埋め尽くされちゃうというシュールな光景が、いっそう不気味に迫ってきます。 なぜ人類がそれに惹かれてしまったのか、もう少し鮮明に見えると、より怖さが増したのでは？ 特別賞：空のキャンパス賞（空のキャンパスだから） 星新一賞（パクリかなあ） イチオシフレーズ：「まさに繁栄の貝殻であった」		
		7 pt	7 位	1 sp
B04	昼休み	できたての友だちの、まだ話題があまりなくて、ちょっと間が持たない空気感かな、と読みました。 日常の会話のなかに、お題をさりげなく溶かし込んだあしらいぶりが、洒落てますね。 「暇だね」が地味に人気だったのも、よかったです。 特別賞：地味なやさしさで賞（「たたかい」「たかい」などを使わなかった） イチオシフレーズ：「……暇だね。」×3		
		9 pt	4 位	1 sp
		絵日記風。 ほのぼの〜♪ が、それこそほのぼのと伝わってきます。		

B05	子供	特に、五本の線引きが楽しかったり、穴掘りがおもしろかったり、まさに子供視線になりきってるあたり、うまいなあ。 タイトルとラスト1行、つまり「はじめ」と「おわり」に小ワザが効くと、もっとグレイとになったのに。惜しい。 特別賞：賛否両論賞（意見がわかれた）
B06	快適な空間	2 pt10 位1 sp あの国が空からも見えなくなっちゃったら、それはそれは怖いよね。 そんな想像を誘いつつ、シェルターの悪夢。独裁者オチでブラックにご提供でした。 ほんと、「あれ」って何でしょう？ 特別賞：あれなんで賞（気になる！）
B07	貝殻	0 pt12 位0 sp ヤドカリと貝をパートナーに見立てたところが新工夫でした。 「モテモテだ」っていきなり威張っちゃうと読者さんを敵にしまうので、あなたが大きくなれるなら私はこの身を捧げるわ♪と自己犠牲っぽくしてみるのも一案だったかも。 イチオシフレーズ：「ぼくはモテモテだ」
B08	自分との闘い ～限界への挑戦～	20 pt1 位5 sp わははは、ばっかだなあ。体に悪いよー、と上手に読者の笑いを誘っていただきました。 このミョウに力こぶの入った描写がすてきです。 でも、よい子はマネしないでね。 とりわけ男性諸氏の共感と呼んだのでしょうか、金メダル&最多特別賞&イチオシフレーズ大賞の三冠達成です、おめでとう!!! 特別賞：しょうもないで賞（アホやから） WBC賞（WBCと間違った） がんばったで賞（字体の工夫やがんばった感じ） 綾小路賞（快感がOZMAっぽいから） 快感で賞（ああ・・・快・・・感・・・） 賛否両論賞（意見がわかれた） イチオシフレーズ：「ー最高のフィニッシュを迎えてみせるー」「WC」「ああ・・・快・・・感・・・」×3
B09	宝物	2 pt10 位0 sp 海辺を映し出した青い映像にふっと乗ってくるキャッチコピーのような。 うつくしさは出ていますが、レイアウト、もっとがんばりたい。 何より主題の「平和」へ、よりなだらかにつなげると、もっとくっきりメッセージが立ってきたと思います。
B10	感染	13 pt2 位2 sp 旬なネタですね。 まわりがヘンと思い込んでたら、じつは自分がヘンなんだ。ビューティフルな逆転劇でした。 お題の入れ方の強引さも、かえってユーモラスでGOOD。 TAさんに、ランランルー好きがいらしたのも幸い。 そんなこんなで、お祭り気分のシルバーメダル、おめでとう!! 特別賞：ドナルド賞（ランランルー） 強引で賞（かいの使い所が無理矢理） イチオシフレーズ：「かいカーいイっかいカカーーい

			カイカイかいいいかかい！」×3
			8 pt5 位2 sp
B11	過去と未来の 一年間		ロマンティックにしっとりまとめて。 リズムカルに展開しつつ、秋の連のせつなさがとりわけ 心に沁みます。 特別賞：胸キュン賞（胸がキュンキュンしたから。最後 の引用が良い）） だんだん気づいたで賞（議論してか ら、いろいろなところに「かい」が含まれていると分 かった） イチオシフレーズ：「引用元＝学研モバイル国語辞典」
			8 pt5 位1 sp
B12	先ず隼より始め よ		隼ことわざを柱に明と暗。 シンプルに構成されてコント風。 オチは読めるのに、リズムよく楽しめる。すてきです。 特別賞：隼賞（その）「かい」かよ!!)